

長野県
松本市



「美しい上高地を
未来に残したい。」

上高地「再生と安全」プロジェクト



松本市総合戦略局
アルプスリゾート整備本部
次長補佐 小林 吉文



松本市・上高地の概要

H17年合併により、
松本市の一部と
なった。

上高地（文化財指定エリア）
市域の約12%



上高地の成立

- 北アルプスの隆起運動と激しい浸食作用
- 火山活動による梓川の堰止めと土砂の堆積で形成

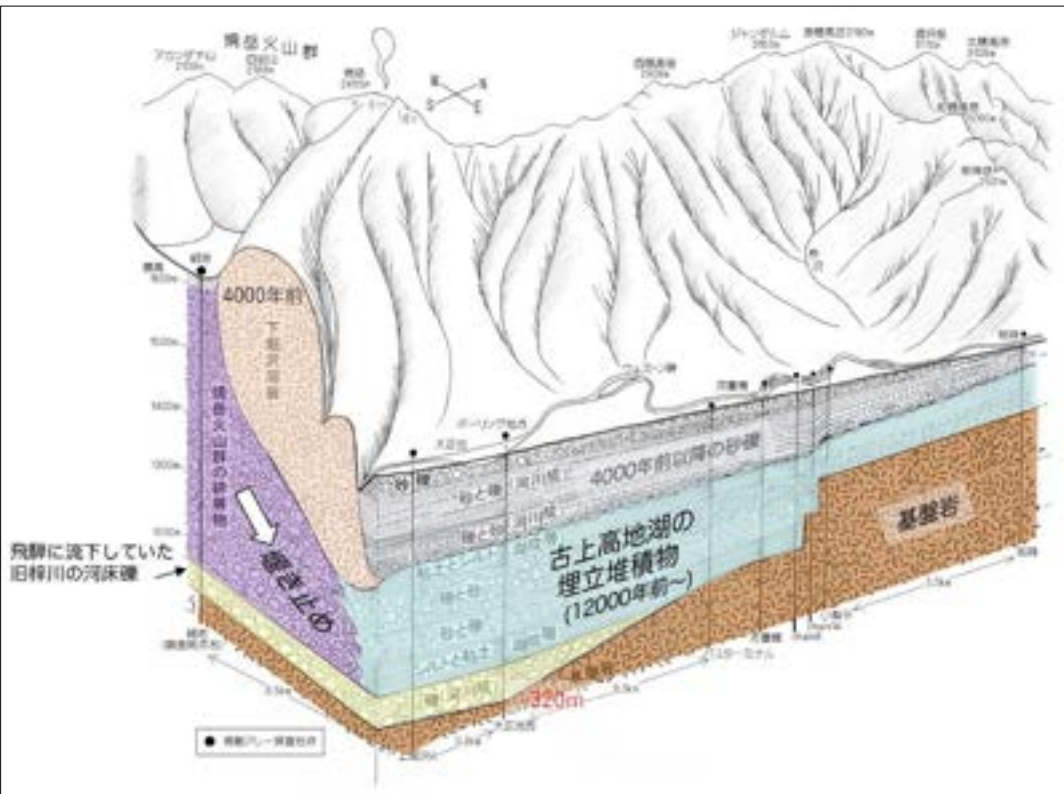


図:「上高地の地下断面」

※原山・河合(2013)の原図(図5)をもとに原山が編集・彩色(「上高地の自然誌」にも原図が掲載)



- かつてはV字谷
- 大正池には300m以上の土砂が堆積
- 現在も浸食・土砂移動・堆積が継続

自然・景観の基盤

- 北アルプスの隆起運動と激しい浸食
- 土砂の堆積と平坦な地形
- 自然な河川の流動と土砂移動
- 洪水によるかく乱
- これらが作り出す多様で特異な生態系



【滝谷花崗閃緑岩】

世界で最も若い部類に入る花崗岩
150万年前に地下でマグマが固結



【網状流路】とケショウヤナギ

○ケショウヤナギ

範囲で群生するのは、本州では梓川流域の上高地と松本盆地のみ。

上高地の概要

3 利用の経緯

- (1) 【江戸時代】 木材利用
 - ・ 松本藩の材木の伐出し場
- (2) 【明治～昭和初期】 牧場
 - ・ 明治17年から昭和9年
- (3) 【大正時代～】 登山ブーム
 - ・ 昭和3年
国の名勝、天然記念物に指定
 - ・ 昭和9年
国立公園に指定
 - ・ 昭和27年
国の特別名勝、特別天然記念物に指定

昭和初期の徳沢牧場→
(松本市立博物館所蔵)



4 法制度・管理

- (1) 複数の法令に基づいた多元的管理
- (2) 環境省が中心となった協働による管理を推進

上高地ビジョン2014
関係団体で構成する中部山
岳国立公園_上高地連絡協議
会で策定



【参考資料】 関係する主な法制度

特別名勝 特別天然記念物



文化財保護法【文化庁】

文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的

保存と活用

中部山岳国立公園



自然公園法【環境省】

優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的

保護と利用

保安林（国有林）



森林法【林野庁】

森林の保続培養と森林生産力の増進とを図り、もって国土の保全と国民経済の発展とに資することを目的

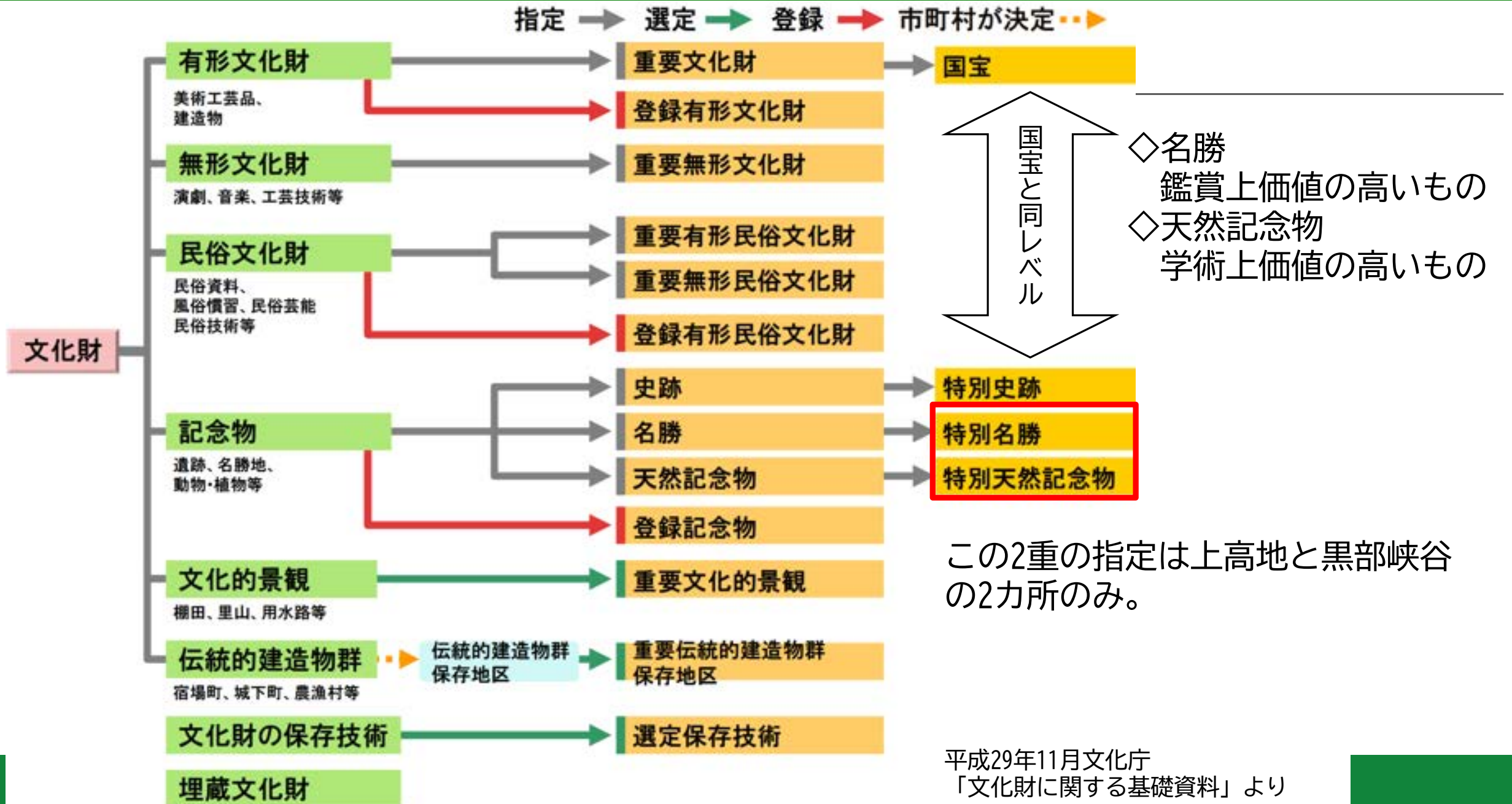
その他

○鳥獣保護区（全域）
鳥獣保護法【環境省】

○一級河川（横尾から下流）
河川法【国土交通省】
管理者；長野県

○砂防指定地（一部）
砂防法【国土交通省】

文化財指定の位置づけ



上高地「再生と安全」プロジェクト

管理用道路に関する課題への対応



管理用道路に関する課題～管理用道路とは～

国立公園を支える重要な道「管理用道路」

【通行目的】

- ・ 宿舎への物資運搬
- ・ し尿の搬送
- ・ 傷病者の搬送
- ・ 公園施設（宿舎、歩道等）管理
- ・ 国有林野管理など



横尾



横尾

川の中にある徳沢・横尾の管理用道路

- 仮の道路・仮橋・土砂堤防で作られている。
- 古いものは、昭和52年から設置
- 数キロにわたって、流路を狭く、単調化させている。

仮の道路や土砂堤防は、河道内に土砂を盛り立てて設けられている

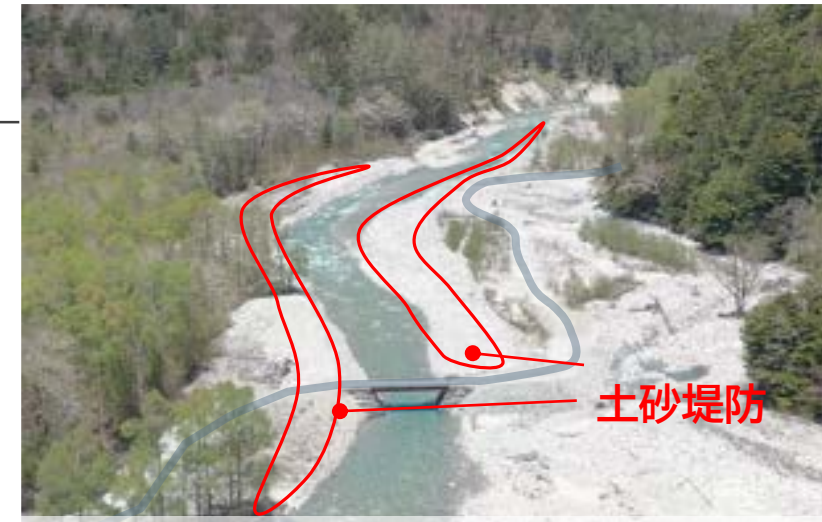
現状の管理用道路



徳沢上流より見た土砂堤防と仮設橋

管理用道路の問題点

- 生物の生息場所を狭め、環境や流路を単調化している
- ケショウやナギや鳥類などの貴重な生物生息状況を変化させている。
- 景観への悪影響
- 大雨により度々流され、管理用車両の通行に支障をきたしている。



直線化・単調化した梓川の流路

大雨により流され
復旧する様子→



徳沢

徳沢仮橋

【管理用道路の状況】 徳沢仮設道
延長約0.6 km
昭和52年から設置

梓川

管理用道路の状況【横尾仮設道】

- ・奥又白谷から横尾
- ・延長約2 k m
- ・平成4年度から設置



植生への影響



プロジェクトの目的

管理用道路の改善により

- 土砂堤防等の撤去により、梓川本来の流れを取り戻す。【再生】
- 被災リスクの低い管理用道路の整備 【安全】



本来の自然な流れ【網状流路】

プロジェクトの内容

— 具体的な整備計画【管理用道路整備】 —

管理用道路のルートを梓川左岸に極力寄せ、増水等の被災リスクを低減する



- 新村橋を車道橋に架け換え
- 梓川左岸にルートを設定
- 土砂崩落や雪崩の発生個所は回避
- 幅員延長約3,400m、標準幅員4m
- 令和3年度後半着手
- 砂利道



プロジェクトの内容

— 具体的な整備計画【新村橋架替え】 —

新村橋（歩道橋）を車道橋に架け替え、管理車両が安全に渡河できる構造



最も影響が軽微である形式として「アーチ橋」を選択

※周辺状況の再現は正確なものではありません。

- 工事着手 令和4年度後半
- 橋梁形式 アーチ橋(ローゼ形式)
- 橋梁規模 橋長約84m、有効幅員4m、高さ約8m
- 工事完了目標 令和9年度

- ・ 歩行者用から車道橋へ
- ・ 川を一跨ぎするアーチ橋
- ・ 橋の高さを極力低く
- ・ 塗替え不要な鋼材
- ・ 景観になじむ茶系色
- ・ 大型トラックや重機の通行を想定
- ・ 橋台周辺を保護する護岸は最小限に

プロジェクトの内容

— 具体的な整備計画【網状流路の再生】 —

現状の仮設橋・土砂堤防を撤去し、梓川の自然な流れ【網状流路】を再生



総事業費約22億円



付帯工事

管理用道路の整備に伴い、電力ケーブルや光通信施設（光ケーブル）の埋設を行います。

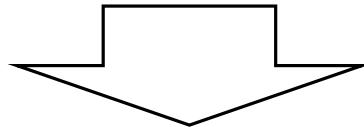
関連事業名	概要
電力供給施設拡張事業	松本市が、明神・徳沢に商用電力を送電している。 横尾にも送電する。 ↓ 自家用発電機燃料（1日約100リットル）の削減による環境負荷低減 燃料運搬車等の通行量減少、トイレの浄化槽化を可能とする。
上高地における地域情報化推進事業	地上架線となっている徳沢横尾間の光通信施設の地下化を行うもの。

環境負荷の低減、安全な利用環境整備

計画検討過程での課題

【検討過程で出された意見の例】

- ・ 上高地は神聖な場所
- ・ 人の手を加えるべきではない。
- ・ 管理用道路の再整備は影響が大きい。今の方がよい。



- ・ 何を共通理解、共通価値とするべきか。
- ・ 何を理想の姿とするべきか。
- ・ 影響が大きい少ないは何を基準に判断すべきか。

—上高地に関する法律—

【自然公園法】

優れた自然の風景地を**保護**するとともに、その**利用**の増進を図り、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的

【文化財保護法】

文化財を**保存**し、且つ、その**活用**を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的



両法とも、保護・保存と利活用が両輪

—自然環境と景観への影響とは？—

上高地の
何を守り、何に手を入
れてよいのか？



過去～現在の間に環境は
変化している



何を目標に
すれば
いいのか？



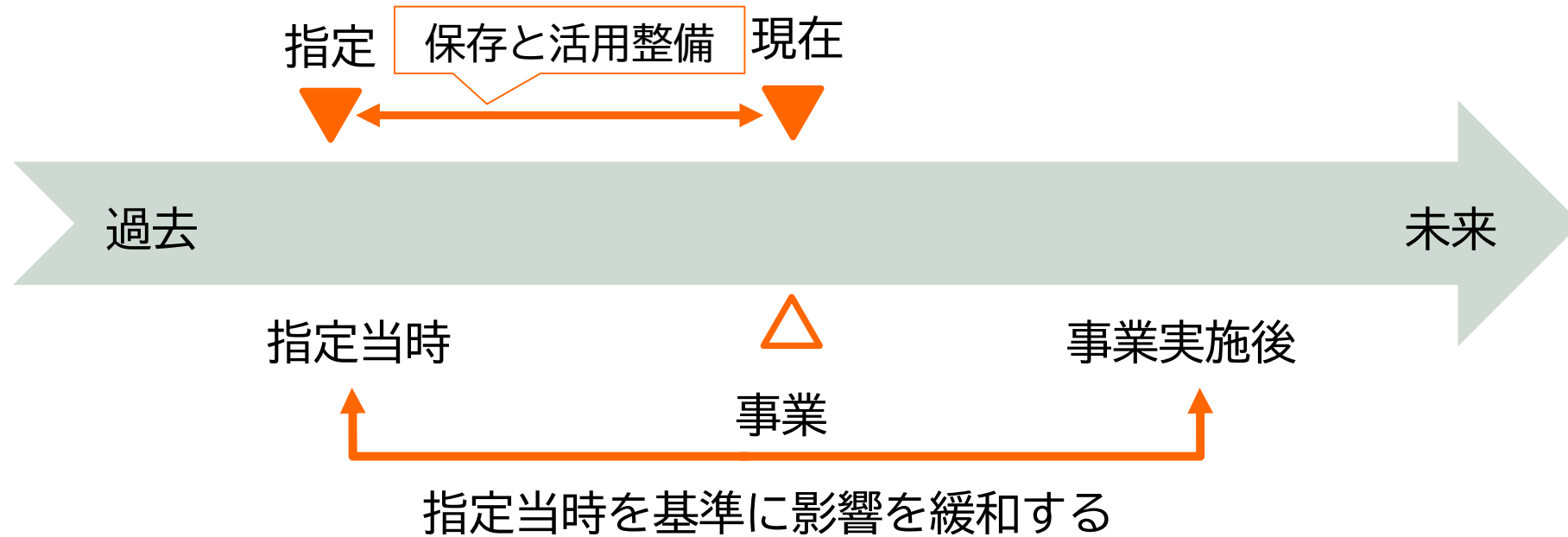
昭和初期の徳沢牧場（松本市立博物館 所蔵）



令和元年現在の同じ場所から撮影した様子

基準とした考え

—環境保全目標—



環境保全の基本的考え方

【指定当時の状態を理想の姿】

手つかずで残る自然は極力保存
人の手を加えた箇所に整備

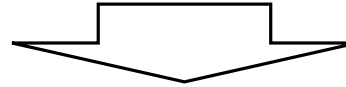
事業実施上の課題

【上高地愛の強い方に事業の趣旨をどのように届けるか。】

- ・ 開山期間の約6カ月間に約120万人来訪（過去の調査ではリピーター7割）
- ・ 一見自然破壊と解釈される懸念

【財源確保】

- ・ 国県ではできる制度がない。→補助制度がない特殊な課題



【情報発信、広報】

- ・ **クラウドファンディング型ふるさと納税制度の活用（R4年度～）…財源確保を兼ねて**
- ・ 報道機関向け現場説明会
- ・ 自然保護団体、自然環境研究者への個別説明
- ・ 山小屋関係者の協力によるチラシ配布
- ・ 山岳系雑誌への記事掲載
- ・ ホームページ、ユーチューブ
- ・ 環境関連シンポジウム、学会等での事例発表など

クラウドファンディング型ふるさと納税の効果

【上高地愛が強い方とのコミュニケーション】

- ・ 寄附を通じた事業への参加
- ・ 思いをお聞きする機会に。

【一般的な寄附への波及】

- ・ 一般的な寄附（市内の個人や企業、登山会などの団体からの寄附）の増加

寄せられた応援メッセージ（計８１件）

- ・ 上高地の雄大な景色が大好きです。いつまでもあの自然が守られますように！
- ・ 子どもの頃から何度訪れたかわかりません。大自然と観光の共存のために少しでも役に立てたらと思い、寄付します。
- ・ 家族の思い出の地でもあります。美しい自然との調和が保てますよう、ささやかながら応援します。
- ・ 上高地、槍穂高連峰は日本だけでなく世界の未来のために残すべき宝です。 自然と人間が共生できる環境整備の一助にしてください。

クラウドファンディング型 ふるさと納税 で応援を

美しい上高地を 未来に残そう

上高地は、中部山岳国立公園の一部であるとともに、
特別名勝と特別天然記念物に指定されている世界に誇る景勝地です。
松本市では、上高地の価値を未来へつなぐため、
人為的に改変された梓川を本来の姿に再生するプロジェクトを進めています。
あなたも一緒に、美しい上高地を未来に残しませんか？

ふるさと納税って？

生まれ故郷や応援したい自治体に
寄附ができる制度です。

税金の控除が受けられます

寄附額から2000円を除いた額が
所得税・住民税から控除されます。

※なお、控除される額には、収入や家族構成等
に応じて、一定の上限があります。

詳しくは
こちら



受付期間
9/2(土)～
11/30(木)

寄附者名を
上高地に残します
プロジェクトを後世に
伝えるための解説板を
設置し、寄附者名を
記載します

※詳しくは募集ページを
ご覧ください



アルプスラッコ

実施主体 松本市（担当：アルプスリゾート整備本部）

問合せ先 ☎ 0263-94-2307

再生と安全

【現在募集中】

- ・ 募集期間 令和5年9月1日～11月30日
- ・ 目標金額 2000万円
- ・ プロジェクトを後世に伝えるための解説板を現地に設置し、寄附者名を記載（10万円以上の寄附者）